

第12回大島町地域公共交通活性化協議会会議結果（要旨）

会議名	第12回大島町地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和7年12月19日（金）午後1時00分から午後2時30分まで
開催場所	大島町開発総合センター1階 大会議室
開催方法	オンサイト、Web会議システムを利用したオンライン会議によるハイブリット形式
委員出席等	木中会長、長野職務代理、吉川委員（代理：山崎）、中山委員、中田委員、藤田（武）委員、高橋委員、辻委員、宮本委員、平野委員、山本委員、諸田委員
事務局出席者	船木事務局長、小泉事務局員、橋本事務局員
議事・報告	<p>【議事】</p> <p>(1) 令和7年度取り組み内容の中間報告について</p> <p>(2) 令和8年度取り組み内容（素案）について</p> <p>(3) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る事業評価について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 大島町観光総合計画（素案）</p>
会議資料	別添のとおり
会議結果	<p>【議事】</p> <p>(1) 令和7年度取り組み内容の中間報告について ・事務局より資料説明を行った。</p> <p>(2) 令和8年度取り組み内容（素案）について ・事務局より資料説明を行った。 ・全会一致で承認された。</p> <p>(3) 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る事業評価について ・事務局より資料説明を行った。 ・全会一致で承認された</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 大島町観光総合計画（素案） ・委員より資料説明を行った</p>
出された主な意見	<p>【議事】</p> <p>(1) 令和7年度取り組み内容の中間報告について (資料1) ・電動モビリティは来年度の導入の検討との認識でよろしいか。（17ページ） →（事務局）東京都の補助事業として、今年度中に導入するのであれば、100万円の補助金のもと、導入が可能である。委員の中で興味関心があれば、補助事業を活用して導入を検討していただきたい。</p> <p>(2) 令和8年度取り組み内容（素案）について (資料2) ・実証実験について、利用者から周知不足や乗り継ぎ運賃に関する意見が挙げられ</p>

	<p>た。利用者は地元の人が多く、観光客は少なかった。これまでの期間で積み残しは発生していない。残りの期間も気を引き締めて行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行体制の上下分離とあるが、これは車両を町で保有し、運転手や運行管理についてはタクシーだけを想定しているか。 <p>→（事務局）実証実験の区間を想定している。バスの運行ではなく乗合タクシーの運行部分でこのような形が取れないかという検討である。ジャンボタクシーの運行だと積み残しの懸念がある。その時に上下分離で対応する方法ができれば解決できると考える。そこの切り口の案であるが、実施前提の案ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それならば現状運行しているバスでよいのではないか <p>→（事務局）今後ヒアリングをしていく必要があると考える。今の運行は長い距離を運行している分経費がかさむ部分があるかもしれない。そこで利用が少ない部分を切り分けるという方策の一つとして考えている。</p> <p>ヒアリングの中で実際の効果を伺い議論していきたい。</p> <p>（3） 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る事業評価について （資料 3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度の素案で実証実験をプラスアップする話があったが、大島公園ラインはフィーダー補助金の系統に合致する路線であるため、場合によっては補助対象外になる可能性がある。検証内容を踏まえ、来年度実証運行する場合は気を付けていただきたい。 <p>→（事務局）承知した。</p> <p>【報告】</p> <p>（1） 観光総合計画（素案） （資料 4）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大島内のバスで観光路線というと三原山ラインなどが上がる。 <p>椿祭り期間を除き、祝日・休日のみの運行であるところで、なぜ平日の運行がないのかという利用者の意見がある。</p> <p>今後運転手の減少や車両の老朽化もあるので、その部分の補助体制を検討いただきたい。</p>
問い合わせ先	事務局 大島町政策推進課振興企画係 04992-2-1444